



I 第11週の発生動向 (2021/3/15~3/21)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。

II 第11週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科																
インフルエンザ															0	
小児科	RSウイルス感染症					9	0.90			16	2.67	2	0.50	27	0.64	18
	咽頭結膜熱			1	0.11			3	0.60					4	0.10	-2
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	6	0.75	3	0.33	1	0.10	7	1.40	1	0.17			18	0.43	-3
	感染性胃腸炎	21	2.63	55	6.11	40	4.00	17	3.40	12	2.00	2	0.50	147	3.50	-52
	水痘	2	0.25											2	0.05	1
	手足口病			1	0.11									1	0.02	1
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん			3	0.33	7	0.70	1	0.20	1	0.17	1	0.25	13	0.31	-2
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎															-1
眼科																
急性出血性結膜炎																0
流行性角結膜炎	1	0.50											1	0.09	1	
基幹																
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	
クラミジア肺炎															0	
細菌性髄膜炎															0	
マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	1	
無菌性髄膜炎															0	

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓



腸チフス・パラチフス (三類感染症 全数把握)

腸チフスはチフス菌 (*Salmonella Typhi*)、パラチフスはパラチフスA菌 (*Salmonella Paratyphi A*) の感染によっておこる全身性疾患です。

腸チフスとパラチフスの症状はほとんど同じで、潜伏期間 (7~14 日) 後、38℃以上の高熱が続き、徐脈、バラ疹、脾腫、下痢などの症状を呈し、時に腸出血、腸穿孔をおこすこともあります。無症状の場合は、ほとんどが胆のう内保菌者であり、永続保菌者となることが多いです。

感染者の多くは、東南アジアやインドなどの流行地域への渡航による輸入事例ですが、国内での食中毒による感染事例も報告されているため、注意が必要です。

チフス菌、パラチフスA菌は、どちらもヒトのみに感染し、患者や無症状病原体保有者の糞便で汚染された食品や水を摂取したり、汚染された手指を介して感染 (経口感染) します。感染の予防には、十分加熱調理したものを摂取し、調理前やトイレの後など徹底した手洗いをしましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

腸チフス・パラチフスとは(国立感染症研究所HP)

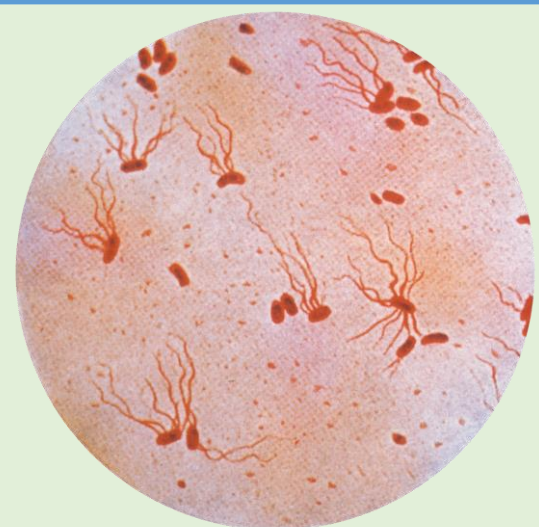


図:チフス菌のグラム染色法による顕微鏡写真
出典: CDC 米国疾病予防管理センター



腸チフス 国立感染症研究所 🔍

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：五所川原 1 人、上十三 1 人 (2021 年計： 30 人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）：青森市 1 人 (2021 年計： 17 人)

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2021 年第 8 週～第 11 週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
8		レジオネラ症 1 人			カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人 水痘(入院例に限 る。) 1 人	
9	レジオネラ症 1 人		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人			カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人
10	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人 梅毒 1 人					
11	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人					

- ・第 10 週に青森市保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人の届出がありましたので、追加しました。

Ⅵ 結核(二類感染症)（2021 年第 8 週～第 11 週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
8					1	
9						
10					1	
11				1	1	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2021年第1週～第10週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回歸熱	重症熱性血小板減少症候群	つづが虫病
累積報告数	2742	4	149	120	16	3	1	2	7	58

分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	日本紅斑熱	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎
累積報告数	5	3	4	221	1	113	29	303	3	60

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒
累積報告数	1	29	141	160	9	48	213	49	1	1082

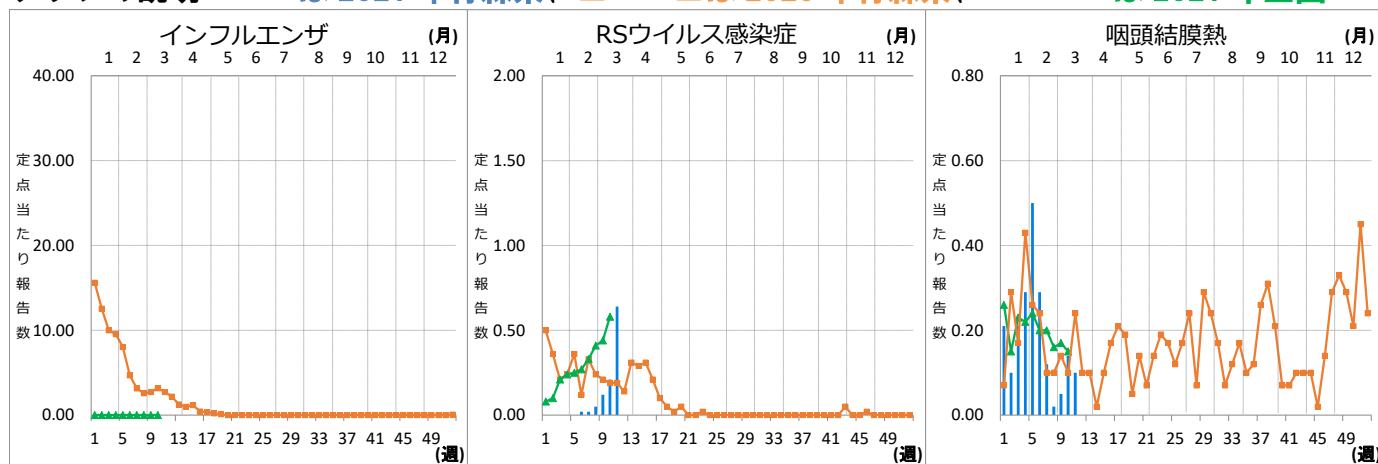
分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん
累積報告数	25	13	15	124	4

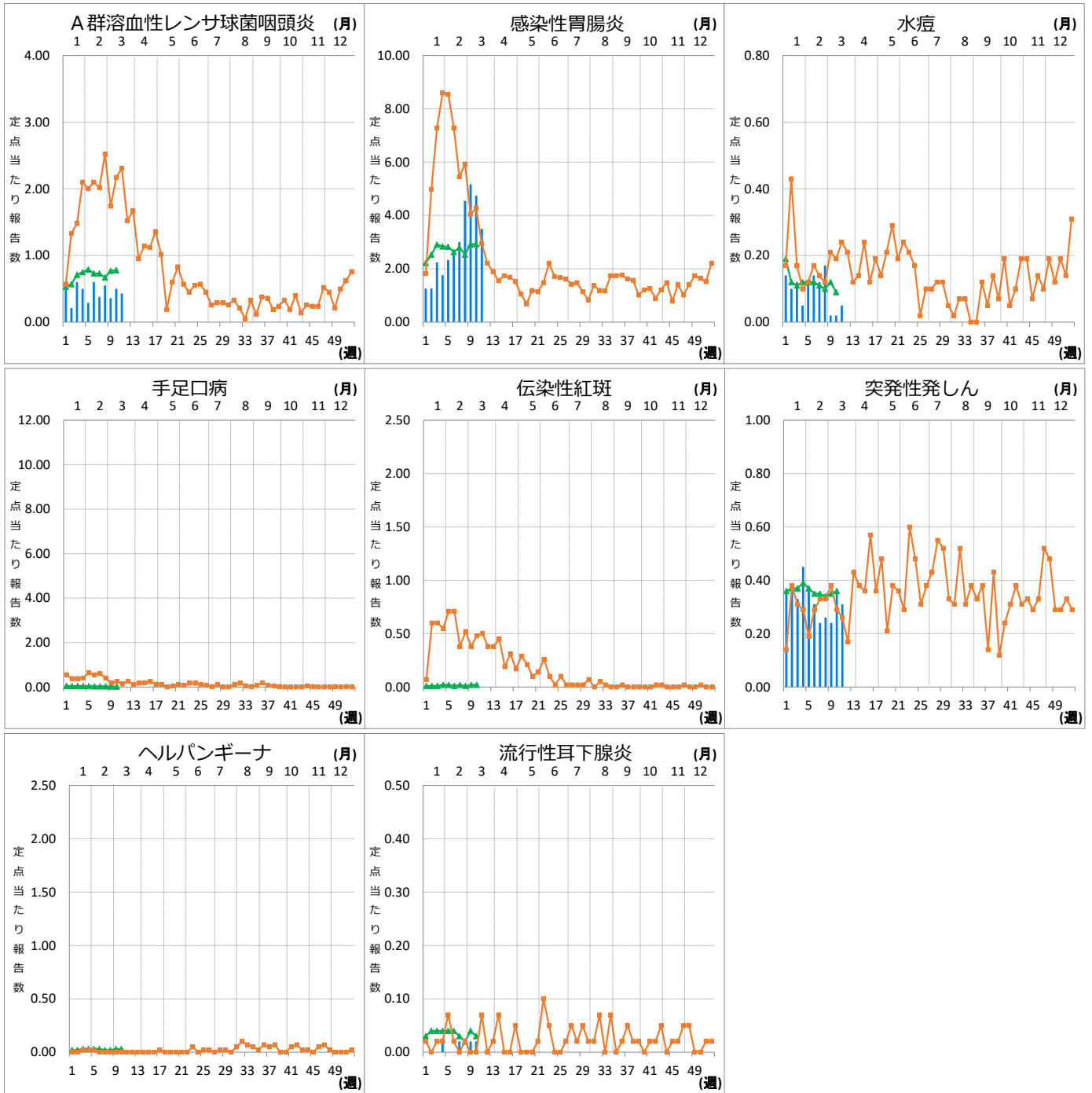
青森県（2021年第1週～第11週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	百日咳
累積報告数	30	1	3	17	1	1	1	4	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2021年第11週、ただし全国は前週）

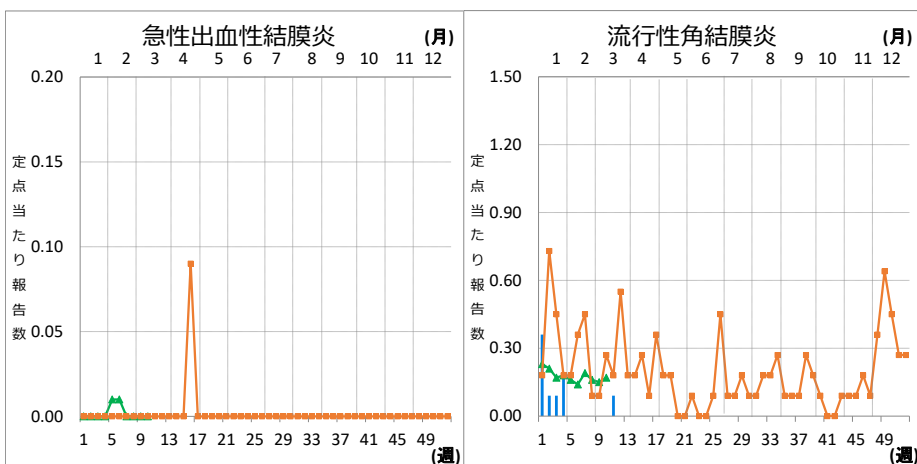
グラフの説明 ■は2021年青森県、■は2020年青森県、▲は2021年全国





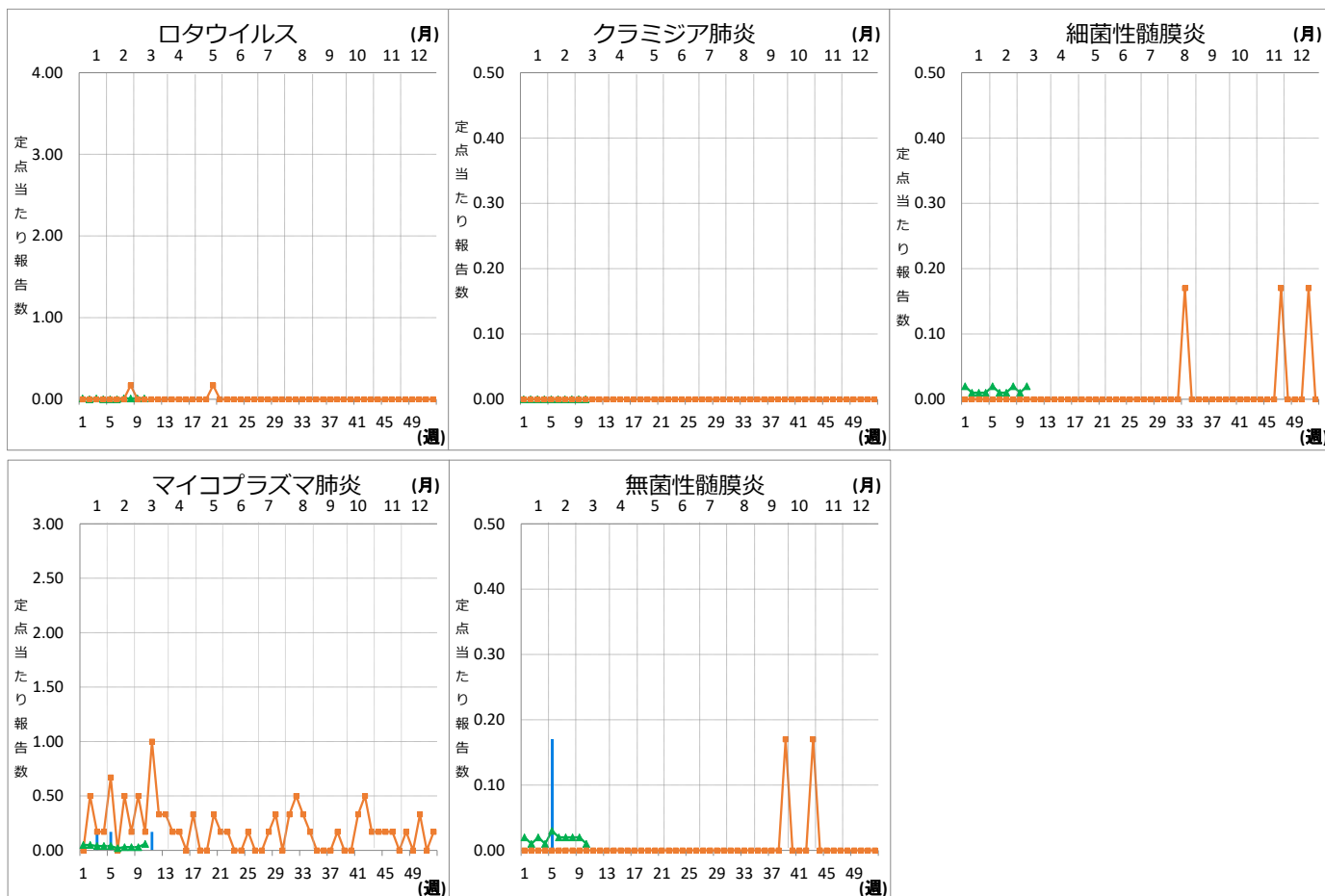
Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2021年第11週、ただし全国は前週)

グラフの説明 **——■は2021年青森県、■——■は2020年青森県、▲——▲は2021年全国**



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2021年第11週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2021年青森県、 は2020年青森県、 は2021年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2021年第11週

報告はありませんでした。

2021年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月		3月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9週	10週	11週		
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	0	7	2	3	0	12	12
	発症者数	0	195	25	58	0	278	278
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	7	2	3	0	12	12
	発症者数	0	195	25	58	0	278	278